

## 多職種チームで関わり、関係機関と連携し、患者さんの問題に対応します

### 「特徴」

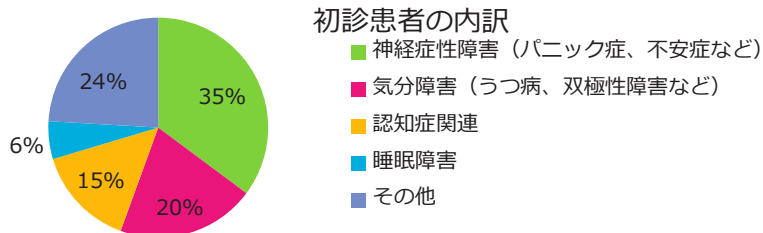
- ◇ 総合病院の精神科として、他の診療科と協力し、診断や治療を行います。
- ◇ 多様な職種が協働し、それぞれの専門性を活かし援助を行います。
- ◇ かかりつけ医の先生方と連携し、患者さんをサポートしていくよう努めます。

### 「トピックス」

- ◇ **精神疾患の入院治療：**  
あらたに精神科病棟（20床）が設置されます。気分障害（うつ病、双極性障害）や神経症、軽度の統合失調症などの入院治療が可能になります。退院後は、かかりつけ医の先生のもとで再び治療が受けられるように心がけます。
- ◇ **精神科病棟での身体合併症治療：**  
これまで精神症状のために一般病棟での療養が難しかった患者さんが精神科病棟に入院し、身体合併症の治療を受けられるようになります。
- ◇ **認知症ケア・せん妄対策チームとリエゾンチーム：**  
平成28年4月に認知症ケア・せん妄対策チームを立ち上げ、認知症やせん妄の入院患者に対し、精神科医、心理士、看護師などからなる多職種チームで介入しています。  
今年度より、認知症以外の精神疾患や身体疾患治療中に発生した精神医学的問題に対しても、多職種のリエゾンチームで治療や支援を行います。
- ◇ **周産期のメンタルヘルスケア：**  
マタニティブルーや妊娠中・産後うつ病など、妊産婦のメンタルヘルスケアの重要性は高く、産婦人科と連携し、ハイリスク妊産婦に対応しています。
- ◇ **広島市自殺未遂者支援コーディネーター事業：**  
平成30年4月より自殺総合対策大綱に基づき、広島市の事業として自殺未遂者の支援を行っています。医療ソーシャルワーカーと協働し、関係機関と連携を取り、退院後のフォローを行うことで、再企図の防止に努めています。
- ◇ **精神症状のFAX相談：**  
令和3年7月より安佐医師会との連携事業として、地域の先生方から不眠やせん妄、認知症の問題行動などの相談をFAXで受け付け、回答するサービスを行っています。

## 「診療実績」

令和2年度は精神科外来の初診 54 名のうち、36 名（67%）が紹介患者であり、紹介元は主に安佐医師会及び隣接地域の医師会に所属の医療機関でした。患者さんの内訳は、神経症性障害（パニック症、不安症など）35%、気分障害（うつ病、双極性障害）20%、認知症関連 15%、睡眠障害 6%となっています。



## 「こんな症状ご紹介ください」

精神科病棟の運用が始まります。精神症状の悪化に伴い治療が必要な場合や、精神科専門病院に入院中に身体合併症が生じた場合などご相談ください。退院後、かかりつけ医の先生に診療を引き継げるよう努めます。一方で、興奮が強い方や長期入院を希望される方などは、対応が困難です。

広島市立北部医療センター  
安佐市民病院

## 精神科 医師スタッフ紹介

えらび ひさゆき 撰 尚之 (H11 卒)	精神科主任部長 〔精神科一般〕
いのうえ しゅんいち 井上 俊一 (H21 卒)	精神科副部長 〔精神科一般〕
まつもと よういちろう 松本 洋一郎 (H31 卒)	精神科専攻医 〔精神科一般〕
もりのぶ しげる 森信 繁 (S57 卒)	精神科非常勤嘱託医師 吉備国際大学教授 〔精神科一般・感情障害〕

広島市立北部医療センター  
安佐市民病院

## 精神科 外来診療案内

	月	火	水	木	金
1 診	撰 (再診)	井上 (再診)	井上 (初診・再診)	井上 (初診・再診)	撰 (再診)
2 診	森信 (初診・再診)			松本 (再診)	